

## 『西洋比較演劇研究』論文／研究ノート執筆要領

### 目次

1. 分量
2. 原稿の投稿, 提出するファイル
3. 論文／研究ノート本体ファイルの書式
4. 参考文献一覧のファイルの書式
5. 論文／研究ノートおよび執筆者に関するメタデータファイル
6. 画像(写真, 図表, 動画)ファイルについて
7. 英文要旨ファイルについて
8. 最終入稿原稿の提出
9. 校正
10. その他

### 1. 分量

投稿論文／研究ノートは本文と注を含め、原則として16,000字以内とする。

(\*「原則として」とは、内容によっては多少の分量の超過が認められるという意味である。ただしその判断は編集委員会に委ねられる。)

### 2. 原稿の投稿, 提出するファイル

#### 2.1 電子ファイルによる提出

原稿は電子ファイルとして投稿, 提出する。欧文特殊文字(フランス語のアクセント記号やギリシャ文字)を使用したり, 図表を用いたり, 複雑な文字組みがある場合には, それらが正しく表示されたプリントアウトをPDFファイルとして添付する。

#### 2.2. 使用可能なファイルの形式

使用可能なファイルの形式はMicrosoft Wordであり, 必要に応じてPDFも使用する。画像についてはjpegを, 動画についてはwmvを推奨する。

#### 2.3 提出するファイルの種類

- (a) 論文／研究ノート本体のファイル
- (b) 注および参考文献のファイル
- (c) 論文／研究ノートおよび執筆者に関するメタデータファイル
- (d) 画像(写真, 図表, 動画)ファイル(必要な場合)
- (e) 英文要旨ファイル(論文／研究ノート採択決定後)

#### 2.4 提出ファイルの命名法

- (a) 論文／研究ノート本体のファイル

- ファイルの命名法の原則：投稿するジャーナルの巻数\_CTR\_投稿者の姓および名の最初の一字.拡張子

(\*上記は全て半角英数字を用いる。CTRは『西洋比較演劇研究』(Comparative Theatre Review)の略称。\_はアンダーバー。拡張子とはファイルの種類を識別するためのdocx, doc, pdf等を指す。名の最初の一字を加えるのは同姓の者による投稿を区別するため。)

例 (田中次郎氏がCTR第11号のためにWordで投稿した論文／研究ノート本体のファイルの命名法)

11\_CTR\_Tanakaj.docx

例 (2011年に田中次郎氏が添付した論文／研究ノートのプリントアウトファイルの命名法)

11\_CTR\_Tanakaj.pdf

(b) 注および参考文献のファイル

- ファイルの命名法の原則：投稿するジャーナルの巻数\_CTR\_投稿者の姓および名の最初の一字\_NOTE.拡張子

例 (田中次郎氏がCTR第11号のためにWordで投稿した注のファイルの命名法)

11\_CTR\_Tanakaj\_NOTE.docx

(c) 論文／研究ノートおよび著者に関するメタデータファイル

- ファイルの命名法の原則：投稿するジャーナルの巻数\_CTR\_投稿者の姓および名の最初の一字\_META.拡張子

例 (田中次郎氏がCTR第11号のためにWordで投稿したメタデータのファイルの命名法)

11\_CTR\_Tanakaj\_META.docx

(d) 画像 (写真, 図表, 動画) ファイル (必要な場合)

- ファイルの命名法の原則：投稿するジャーナルの巻数\_CTR\_投稿者の姓および名の最初の一字\_APDX1.拡張子

(ファイルが複数になる場合は、上記の1を順次2～5に置き換える。)

例 (田中次郎氏がCTR第11号のためにjpegで添付した1枚目の画像のファイルの命名法)

11\_CTR\_Tanakaj\_APDX1.jpeg

(e) 英文要旨(論文／研究ノート採択決定後)

- ファイルの命名法の原則：投稿するジャーナルの巻数\_CTR\_投稿者の姓および名の最初の一字\_ABST.拡張子

例 (田中次郎氏がCTR第11号のためにWordで送付する英文要旨のファイルの命名法)

11\_CTR\_Tanakaj\_ABST.docx

## 2.5 ファイルの送付先

〒164-8525  
東京都中野区中野 4-21-1  
明治大学中野キャンパス 1410 研究室, 萩原 健

メールで送付する場合のアドレス

[hagi@meiji.ac.jp](mailto:hagi@meiji.ac.jp)

メールでファイルを送付する場合の注意事項

メールの件名 (subject) 欄に, 「西洋比較演劇研究投稿」と明記のこと。

画像 (写真, 図表, 動画) ファイルについては, 容量が大きく, メールでは送付できないものはフラッシュメモリを別に送付するか, あるいは適当なデータ保存用サイトにファイルをアップロードしておき, ダウンロードの手順を上記アドレスまで知らせること。

締切: 「西洋比較演劇研究会」ホームページを参照のこと

<http://www.comparativetheatre.org/>

### 3. 論文/研究ノート本体ファイルの書式

#### 3.1 ページレイアウト, ヘッダー, フッター

ページレイアウトについては Word の設定を利用する。余白は「標準」(上 35.01mm, 下および左右 30mm), 行間は「1行」とする。

ヘッダーは右寄せとし, MS 明朝体, 10 ポイントで「西洋比較演劇研究」と記す。

フッターは 2 行とする。1 行目は左寄せとし, 日本語については MS 明朝体, 9 ポイント, 欧文については Times New Roman 10 ポイントで, 次のように記す。「執筆者の姓」「半角スペース」「執筆者の名」「全角スペース」「論文/研究ノート表題」。副題がある場合, 続けて「全角スペース」「論文/研究ノート副題」。2 行目は右寄せとし, Times New Roman 12 ポイントでページ番号を挿入する。

#### 3.2 使用するフォント, サイズ等

ファイルは横書きで提出する。

句読点は, 日本語については「。」, 「, 」の組み合わせとする。「, 」は用いない。「, 」は全角のコンマを用いること, 「…」は半角ピリオドを 3 回続けて打つ「...」のではなく, 和文記号の「…」(三点リーダー)を用いる。

ダッシュ (ダッシュ) 「--」については, 半角ハイフン「-」を二度打ちし, 全角ダッシュ「—」は用いない。

本文: 日本語については MS 明朝体, 10 ポイント, 欧文については Times New Roman 12 ポイント。

表題, 副題, 執筆者名: 日本語については MS 明朝体, 12 ポイント, 欧文については Times New Roman 14 ポイント。

章見出し: 日本語については MS ゴシック体, 10 ポイント, 欧文については Times New Roman 12 ポイントでボールド。

PCの機種依存文字の使用について十分に注意すること。たとえば丸数字 (①②③…), ローマ数字 (I, II, III) については文字化けするのでファイルでは使用しない (ローマ数字は半角アルファベットの組み合わせとする)。その他の記号についても同様 (たとえば「No.」は、半角英数字の組み合わせ「No.」とする)。半角カタカナは用いてはならない。外字等については十分に注意する。これらを用いる際には、正しく表記されたpdfファイルを添付する。

### 3.3 表題, 副題, 執筆者名

表題: Wordの「中央揃え」配置で冒頭2行目に記入。「」は不要。副題のある場合は改行して記入。

執筆者名: Wordの「中央揃え」配置で、表題 (または副題) より2行あけて記入。

本文: Wordの「両端揃え」配置で、執筆者名より2行あけて記入。

### 3.4 章分け

章分けが必要な場合は、1行あけて数字と章見出しを入れる。ただし数字のみ、あるいは数字を省略して章見出しのみとすることも可。

### 3.5 書籍, 雑誌, 論文/研究ノート, 作品等の記載

日本語の書籍, 雑誌, 作品名は『』に入れる。

日本語の論文などの題名は「」に入れる。

欧文の書籍, 雑誌, 作品名はイタリックにする。

欧文の論文などの題名は“”に入れる。

フランス語等で論文題名に用いる«», „“, 等の記号についても、原則として上記のルールに従う。

### 3.6 引用文

引用を行う場合は、前後を1行ずつあけ、頭を全角2字下げる。「」は不要。書き出しおよび改行の際はさらに1字下げる。

本文中で短い引用を行う場合は、「」に入れる。

複数の箇所をまとめて引用する場合には、各引用文の間を1行あける。

引用文について、その一部を論文/研究ノート執筆者が省略したり、説明を加えたりする場合には〔〕を用いる。引用の一部を省略する場合は、[… ]とする。…は半角ピリオドを3回続けて打つのではなく、和文記号の… (三点リーダー) を用いる。

### 3.7 本文中の注の付け方

注と参考文献を区別する。論文/研究ノート中で参照または引用した文献については、ハーバード方式による表記を用いる。すなわち、参考文献の書誌事項を本文に直接書かず、最後に「参考文献一覧」として列挙し、本文中では、( ) 内に参考文献の著者名と刊行年 (および必要に応じて該当する頁) のみを記述して出典を示す。

著者名と刊行年の間には半角のスペースを置き、刊行年と頁は半角のコマで区切る。

たとえば、以下のようなになる。

#### 「本文例」

ハーバード方式はEdward Laurens Markによって考案された(Chernin 1988, p.1062)。

#### 「参考文献一覧の例」

Chernin, Eli. (1988). "The "Harvard system": a mystery dispelled", *BMJ : British Medical Journal* 297 (6655): 1062-1063

同じ著者に同じ出版年のものが存在する場合は、先に発行されたものから順番にアルファベットを出版年の後につける。

たとえば、(Chernin 1988a) (Chernin 1988b)のようにする。

これについては、「4. 参考文献一覧のファイルの書式」も参照のこと。

注については本文の右肩上に<sup>12</sup>のように、半角英数字上付きの通し番号を付ける。

Wordの脚注機能の使用を推奨する。

注番号を置く位置

日本語の「。」 「,」 欧文の「,」 「,」はその前に置く。

「;」 「:」 「?」 「!」 は、その後に置く。

括弧「 」 ( ) 【 】 については、その後に置く。

### 3.8 添付した画像ファイルの参照方法

J-Stageの電子ジャーナルでは、1本の論文／研究ノートにつき最大で5本までの画像ファイル(図表、動画を含む)を添付することができる。論文／研究ノート中でこれらの画像を参照する場合には、注としてではなく、(添付画像ファイル1参照)のようにすることができる。ただし論文／研究ノート中に画像(図表)を含める場合は、その限りではない。

## 4 参考文献一覧のファイルの書式

### 4.1 ファイルの構成

論文／研究ノート本体の注とは別に、参考文献一覧を作成し、論文／研究ノートの末尾に添付する。

参考文献は論文／研究ノートにおいて実際に参照されたものだけを列挙し、単なる参考文献は記載しないこと。

### 4.2 参考文献一覧の書式

行頭から、日本語の場合は全角1字、欧文の場合は半角2字下げて、数字と右側のみの丸括弧を書き、さらに全角1字(半角2字)あけて書き始める。次行は行頭から書く。なお、注のポイントは本文と同一のものを用いる。

著者名、書名、出版社名、叢書名、刊行年の順で記述する。日本語文献と欧文文献の一覧を分け、日本語文献については著者の五十音順で、欧文文献については著者のアルファベット順で記載する。

項目の区切りはコンマ「,」を用い、読点「,」は用いない。論文／研究ノートは、執筆者名、論文／研究ノート名、雑誌名、巻号、刊行年、ページの順で記述する。書名は日本語の場合は『 』に入れる。欧文の場合はイタリックとする。論文／研究ノート名は、日本語の場合は「 」に入れる。欧文の場合は“ ”に入れる。欧文の場合、姓(family name)を大文字にする。

例

田中次郎『比較演劇入門』珍品堂出版, 2001。

田中次郎「ドン・ジュアンの位相」『比較演劇学紀要』第10号, 日本比較演劇学会, 1999, pp. 140-160。

TANAKA Jiro, *Introduction to Comparative Theater*, Chinpindo Publishing, 2001.

TANAKA Jiro, "Many faces of Don Juan", *Journal of Comparative Theater*, Vol.10, Japanese Society for Comparative Theater, 1999, pp. 140-160.

その他, 参照文献書式について不明な点は, Wikipediaの「ハーバード方式」ならびにJST (科学技術振興機構) 「参考文献の役割と書き方」

[http://sist-jst.jp/pdf/SIST\\_booklet2009.pdf](http://sist-jst.jp/pdf/SIST_booklet2009.pdf)

を参照のこと。

## 5 論文／研究ノートおよび執筆者に関するメタデータファイル

以下の情報を記入する。各項目が終了するごとに改行する。

- (1) 論文／研究ノート執筆者の姓・名
- (2) 上記のよみがな
- (3) 論文／研究ノート題名
- (4) 論文／研究ノート副題 (ない場合は空欄のままで可)
- (5) 論文／研究ノート執筆者の所属 (ない場合は個人研究者とする)。複数の場合は2つまで記入可。
- (6) 論文／研究ノート執筆者の肩書き (教授, 専任講師, 非常勤講師, 大学院生等)。ない場合は空欄のままで可。
- (7) 論文／研究ノートに画像 (図表, 動画含む) を添付する場合, それらのキャプション (ない場合は空欄のままで可)。
- (8) 論文／研究ノート執筆者の連絡先 (メールアドレス必須)。
- (9) 論文／研究ノート執筆者のアルファベットによる姓・名
- (10) 英訳された論文／研究ノート題名
- (11) 英訳された論文／研究ノート副題
- (12) 英訳された論文／研究ノート執筆者の所属 (ない場合はIndependent scholar, Freelance researcher等とする)。複数の場合は 2つまで記入可。
- (13) 英訳された論文／研究ノート執筆者の肩書き (教授, 専任講師, 非常勤講師, 大学院生等)。ない場合は空欄のままで可。
- (14) 論文／研究ノートに画像 (図表, 動画含む) を添付する場合, 英訳されたそれらのキャプション。ない場合は空欄のままで可。
- (15) 最大で200字程度の日本語による執筆者紹介 (これは雑誌の巻末に「執筆者紹介」としてまとめて紹介される)。
- (16) 最大で400 words程度の英文による執筆者紹介 (これは英文要旨と共にAbout Authors欄に掲載される)。

## 6 画像 (写真, 図表, 動画) ファイルについて

上述のように、J-Stageでは1論文／研究ノートにつき最大で5本まで画像ファイルを添付することができる。ただし画像の著作権の問題を、論文／研究ノート執筆者が責任をもって解決していることが前提となる。

画像ファイルは容量は1本につき最大で80メガバイト、合計で400メガバイトの画像を添付できる（2011年9月現在）。画像ファイルについてはjpeg、動画ファイルについてはwmv形式での提出を推奨する。他のファイル形式による提出を希望する場合には、別途編集委員長まで連絡すること。

上記以外に、論文／研究ノート本体に画像（図表）を貼り付けることもできる。これらの画像については、上記の画像添付条件に拘束されないので、必要な枚数を貼り付けることが可能となる。（これらは、論文／研究ノート本体が表示されるPDFファイルの中に含まれる）。ただしこれらの画像（図表）についても、事前に論文／研究ノート執筆者が責任をもって著作権の問題を解決していなければならない。

## 7 英文要旨ファイルについて

### 7.1 分量

英文要旨は400 words程度,最大で600 words以内とする。

### 7.2 書式

表題：冒頭1行目中央に記入。副題のある場合は改行して記入。

本文：表題（または副題）より1行あけて記入。

フォントならびにサイズは、Times New Roman 12ポイント。

### 7.3 英文校閲(Proof reading)

英文要約については,提出前に英文校閲を受けることを編集委員会として強く推奨する。

## 8. 最終入稿原稿の提出

論文／研究ノート掲載が決定した後、編集委員会からの意見などを参考に修正を加えた論文／研究ノート本体、注および書誌ファイル、執筆者メタデータファイル、画像添付ファイルを再度提出すると共に、英文要旨ファイルを提出する。

これらのファイルの命名法については、英文要旨ファイルを除いて、以下の方式に従う。

投稿するジャーナルの巻数\_CTR\_投稿者の姓および名の最初の一字\_REV.拡張子

例（田中次郎氏がCTR第11号のためにWordで最終的に入稿する論文／研究ノート本体のファイルの命名法）

11\_CTR\_Tanakaj\_REV.docx

例（田中次郎氏がCTR第11号のためにWordで最終的に入稿する注のファイルの命名法）

11\_CTR\_Tanakaj\_NOTE\_REV.docx

例 (田中次郎氏がCTR第11号のためにWordで最終的に入稿するメタデータのファイルの命名法)

11\_CTR\_Tanakaj\_META\_REV.docx

修正ファイルのやり取りが執筆者と編集委員会の間で複数にわたる場合は、上記ファイル名のREVの後に2, 3, 4…と順次番号を振る。

例 (田中次郎氏がCTR第11号のためにWordで2度目の修正を行って入稿する論文／研究ノート本体のファイルの命名法)

11\_CTR\_Tanakaj\_REV2.docx

## 9. 校正

校正は、執筆者が編集委員長との間で行う。校正刷りは原則としてPDFにより、執筆者にメールで送付される。執筆者はPDFに直接校正内容を書き込んで返送しても良いし、PDFをプリントアウトして校正を郵送で返送することもできる。

校正は初校で校了とする。校正段階での加筆、修正は原則として認めない。

## 10. その他

### 10.1 掲載論文／研究ノートの著作権

『西洋比較演劇研究』(Comparative Theatre Review)に掲載された論文／研究ノートの著作権は論文／研究ノート執筆者に、著作権は西洋比較演劇研究会に帰属する。論文／研究ノート執筆者は、西洋比較演劇研究会が掲載論文／研究ノートをインターネット上で無償公開することに関して、その許諾を与えるものとする。『西洋比較演劇研究』で刊行された論文／研究ノートを他に転載する場合、著者は予め運営委員会に連絡の上、その承認を得ること。